

団体名： 大府商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考						
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等							
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。また、課題解決提案・経営革新への積極的な支援を実施する。特に巡回指導は4人の経営指導員により、多忙な小規模事業者にとっては訪問することで時間的短縮が図られる上、出向いて聞くまでもない様な些細な相談を受けることができる。	巡回指導 実企業数 147件 延べ件数 269件 窓口相談指導 実企業数 395件 延べ件数 1,099件 課題解決提案件数 28件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 82.8 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 70.0 %)			小規模事業者に対し、補助金申請のノウハウなど支援を効果的に行う事ができた。（小規模事業者持続化補助金の申請件数18件、採択件数17件、採択率94.4%）	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者は様々な角度から支援が必要であることを考慮し、重点的に支援を行う。今後も現行どおり計画目標を定めて継続実施する。
				目標数値	1652	実績数値	1368	目標数値	40	実績数値	28					B		A		現行どおり	現行どおり	
				目標達成度	B	A	実施方法①	実施方法②														
記帳継続指導	正しい経理と記帳慣行を身に付け、経理管理や納税の適正化を促す。	指導対象企業数 96件 指導日数 519日 指導延べ回数 1,456回	小規模事業者	指標	指導対象企業数 (達成度 106.7 %)			指標	(達成度 %)			小規模事業者の記帳意識の向上をはかり、適正な税務申告指導を図るとともに、経営改善がなされた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	巡回・窓口やホームページによるPRなど、新規加入促進を積極的に行い、指導対象企業数の増加に努めると共に、経営状況に応じた提案型指導を心掛ける。
				目標数値	90	実績数値	96	目標数値		実績数値						A		A		現行どおり	実施方法① 実施方法②	
				目標達成度	A	A	実施方法①	実施方法②														
講習会等	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。具体的には月1回の定例税務相談を始め年末調整、確定申告の勉強会及び集合受付、経営に関する講習会を開催する。	集団指導 6回 延べ93件 個別指導 45回 延べ247件	小規模事業者	指標	集団指導参加者数 (達成度 77.5 %)			指標	個人指導参加者数 (達成度 99.2 %)			定例の集団及び個別講習会を開催することにより、小規模事業者が税務、金融、労務について正しい知識を身につけることができた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	定例の講習会は広く認知されている。定例以外でも時代のニーズにあった有益性の高い講習会を企画する。
				目標数値	120	実績数値	93	目標数値	249	実績数値	247					A		A		現行どおり	上げる	
				目標達成度	B	A	実施方法①	実施方法②														
若手後継者等育成事業	小規模事業者・中小企業者は大企業とは異なり、自己変革に繋がる機会が少ない。この状況を変えるため小規模事業者等の自己研鑽、人格教養、経営能力の向上、企業の発展、並びに地域社会の繁栄に貢献し、会員相互の連携と親睦を図る事を目的とする。	大倉公園つつじまつり、大府夏まつり、研修会等 事業開催回数 青年部10回 女性会10回 延べ参加者数 631名 (青年361名、女性会270名) 青年部会員数 58名 女性会会員数 61名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	青年部会員数 (達成度 85.3 %)			指標	女性会会員数 (達成度 96.8 %)			各種事業の企画・運営により、会員の資質向上を図る事が出来た。又、地域の催しへ参画することにより大府市の活性化に繋がるだけでなく、青年部、女性会という団体を市民に向けてPRできた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	青年部は、経営者等の資質向上に努め、女性会は、高齢化が進んでいる事から、引き続き若手会員の増強を図り、今後の事業運営の安定を図る。
				目標数値	68	実績数値	58	目標数値	63	実績数値	61					A		A		下げる	下げる	
				目標達成度	B	A	実施方法①	実施方法②														
若手後継者等育成事業 「全国会長研修会」【青年部】	地域のために取り組む高い志をもった各地域の会長、次年度会長などが一堂に会する全国会長研修会に参加することは、地域経済を担うリーダーとしての資質の向上と意識の高揚につながる。また、各地の青年部の課題等に係る意見交換は、青年部組織の活性化と一層の充実・新たな人脈づくりにつながる。	参加者数 ・青年部会長 ・次年度会長予定者 計2名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	参加者数 (達成度 100.0 %)			指標	満足度 (達成度 125.0 %)			全国の青年部会員との交流によって、見聞を広めることができた。記念講演により「将来を見抜く先見性」の重要性を学ぶことができた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	2年度も引き続き、全国会長研修会へ参加する
				目標数値	2	実績数値	2	目標数値	80	実績数値	100					A		A		現行どおり	現行どおり	
				目標達成度	A	A	実施方法①	実施方法②														
若手後継者等育成事業 「ビジネスで求められるコミュニケーション力向上」【青年部】	ビジネス・日常生活どの場面においてもコミュニケーションは欠かすことの出来ない能力である。人間関係が上手に行けば仕事もプライベートも充実するものと考えらる。そこで、青年部では、自身のコミュニケーション能力を引き上げ、周りの人との素晴らしい人間関係を手に入れるためのコツを掴むセミナーを開催し、日頃の仕事に活かすと共に、今後の青年部活動にも活かす。	参加者数 19名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	参加者数 (達成度 47.5 %)			指標	満足度 (達成度 125.0 %)			本セミナーを通じて、参加者同士で互いの動き、動作を観察し合うなど、コミュニケーションを取りながら、健康づくりを行えたことはとても有意義であり、参加者には大変満足いただけた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	実施しない
				目標数値	40	実績数値	19	目標数値	80	実績数値	100					A		A		廃止		
				目標達成度	B	A	実施方法①	実施方法②														

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 大府商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考						
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等					
若手後継者等育成事業 青年部地域振興事業「こども職業体験」【青年部】	子供達に対する教育は教科学習やスポーツが中心であり、体験型教育においても伝統産業や科学実験が大部分を占め、「職＝仕事」に関する教育・体験が非常に少ない為、小学生の将来なりたい職業について、選択肢が限られてきているのが現状である。この小学生頃のキャリア教育は、現在問題となっているニート対策や子供の職業意識の醸成、地元企業への就職定着促進などに繋がるものと考えられる。青年部では、自分の職業・職種を紹介し体験する機会を提供し、仕事の厳しさ、働くことの素晴らしさ、物づくり・サービス業の面白さを伝えることで、子供達に将来の仕事に対する「夢」の幅を広げ、更に、日本（大府）を支える人材育成をはかりたいと企画するものである。また、青年部にとっても会員企業のPRになるとともに、プレゼンテーション能力を高めるなど資質の向上に資するものである。	参加者数 444名	主に小学生	指標	参加者数 (達成度 222.0 %)			指標	満足度 (達成度 100.0 %)			本事業を通して、参加した子供たちに職業体験という形で最低3種類の仕事体験をしてもらい、働くことの楽しさ、大変さ、やりがいを感じてもらった。併せて、体験後、将来の夢を描いてもらって将来について考えるきっかけも提供する事が出来た。青年部においては、新事業を企画から実施までする事で、メンバー同士、職業体験参加企業との連絡などをする機会が増え、コミュニケーション力の向上を図る事ができ、新たな経験を積む事ができた。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	初年度の事業としては、行政・市民の方々に大変好評をいただいた事から、ブラッシュアップを図りながら、次年度も引き続き実施する。
				目標数値	200	実績数値	444	目標数値	80	実績数値	80				調査結果 事業者への	A	A		上げる	
若手後継者等育成事業 「女性経営者に求められる資質向上講演会」【女性会】	大府市は、認知症を予防できるまち、そして認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、認知症不安ゼロのまちづくりを進めている。近年、認知症の家族の介護支援に追われる家庭が増えてきている。これは、家族経営が多い企業においても、同様の問題となりえる。そこで、女性会では認知症予防プログラム「コグニサイズ」セミナーを実施し、女性経営者・経営者パートナーとしての資質向上に努める。	参加者数 21名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	参加者数 (達成度 70.0 %)			指標	満足度 (達成度 125.0 %)			目標参加人数を下回ったが、満足度は大きく上回る有意義な事業となった。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	女性会会員の資質向上に努める研修を継続実施
				目標数値	30	実績数値	21	目標数値	80	実績数値	100				調査結果 事業者への	A	A		現行どおり	
商店街振興事業 （げんき商店街推進事業）	小規模商店の現況はいうまでもなく厳しい状況にあり、中心市街地の衰退は著しい。このような厳しい状況を少しでも打破するためには、魅力ある商店づくり（個店対策支援）が必要であり、これにより街にも活気が生まれ、ひいては、地域活性化が図られる。	「おおぶ・逸品運動」 参加店 33件 「おおぶふれあいゼミナール」 参加店 66件 「大府あきんど塾」 参加店 39件	小規模事業者	指標	参加事業所数 (達成度 120.0 %)			指標	満足度 (達成度 %)			個店の魅力を消費者に伝える事ができ、新規顧客の獲得や店との交流が生まれた。また、店主同士の意見交換を通して、“横のつながり”ができ、地域商業活性化の一助となった。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	各店主が目指す数値目標を明確にし、より効果の高い事業となるような企画を実施していく。次年度は実施方法を一部変更し、効率的な実施をする。
				目標数値	115	実績数値	138	目標数値		実績数値					調査結果 事業者への	A	A		現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。